



鎌村 邦子さん

子育て支援

「三人目は？」と聞くと「ええっ？」私の母乳育児相談室に来院されるお母さんは答えられません。飛騨市には不妊治療費助成、産婦一か月健診や母乳育児相談費の助成などがあり何よりも三人目から保育園料は無料です。また、仕事をもつていても育児休暇・未満児保育・勤務



若田 節子さん

心に響くこと

「ハア、ヤッサイ、ヤッサイ」陽気な掛け声と共に、リズムミカルな手踊りと笠踊りが始まりま

時間短縮制度を利用し、私達のころと比べ女性が働きやすくなり有難いこと！それに二人目からの子育てが「うまい」ですね。飛騨市の少子・高齢化は深刻な課題。次世代を担う子供たちが飛騨の自然の中で地域と触れ合いながら育つことはとても素敵！安心して子供を産み育てるために市政と住民が一緒になりみんなで応援したいと思います。

古川町 鎌村 邦子

市民の声

ながら上をめざし楽しく取り組んでいます。

文化祭やイベントでは、この踊りを披露し可愛らしい子供達が人気をつかみます。

子供達が、社会人になり、ふるさとについて話す機会があれば、自信を持つて、「古大尽」を紹介して欲しいと思います。そして、この活動が子供達の中に響く思い出になることを願っています。

宮川町 若田 節子



清水 文野さん

大好きな牛とともに!!

河合町の飛騨かわい牧場に勤めて、今年で5年目になります。作業も自分なりにできるようにになりましたが、1頭1頭が違うので、悩みは尽きず、牛飼いは一生勉強だなあ、

河合町 清水 文野



松下明日香さん

飛騨のことは

飛騨の好きなところは、豊かな緑と、なんと言っても方言。心に優しい飛騨のあたたかい人たち。「まめにしとったかな」なんて言った時には、人との距離がぐっと縮まる。

神岡町 松下 明日香

と思う毎日です。

最近、猫とヤギを飼いはじめました。どちらもよくなついていて、とてもかわいいです。牛や動物達に癒される毎日ですが、最近、牛飼いをやめる人が増えた気がします。高齢化や後継者不足が原因かと思いますが、若い人たちにもしっかりと牛飼いの魅力を知ってほしいです。私の夢は、一生牛飼いです。ばあちゃんになっても牛飼いができれば幸せだなあと思います。

その瞬間に、地元がいいなあ、と感じます。

地域や世代で違いはあるけれど、共通するのは、へ何となくほっとする」という点。大学を卒業して四年ぶりに住み始めたものの、やっぱり自然と飛騨弁を使いこなす自分に、地元へ戻ったことを実感させられました。

今度は私たちの世代が、飛騨の良さや面白いところを伝えていく番。この「へぬくとい」言葉を、大切に使い続けたいと思います。

編集後記

日照りが続けば雨が恋しく、雨が続けばお日様が恋しくなる。人は勝手なものである。話は変わって、近頃の天気予報は、二、三日先までならばかなりの確率で当たるようになりました。これはかの蓮坊さんで有名になったスーパーコンピューターによるところが大きいようです。

日本の天気予報は明治8年(1875年)6月1日から始まったそうです。ちなみに当日の予報は「全国一般風の向きは定りなし、天気は変り易し、但し雨天勝ち」だったそうです。現在とは隔世の感があります。ただ、いくらコンピューターが進歩しても日々の地道な観測の積み重ねがなくては予報はできません。

飛騨市が誕生してようやく十年を迎えます。次代を担う子供達が誇りを持てる飛騨市づくりを進めるには、現代に責任を負う我々が一步一歩着実に前へ進めることが重要だと痛感しています。

(田中 清安)